

# 「北海道景観形成基本計画～美しい北の国のグランドデザイン」の概要

## ◇基本的考え方

- 私たちが北海道という大地で、豊かに暮らしていく礎の一つとして景観づくりを進める。そのためには、理念と意義を共有し、次の世紀を通じ、たゆまない努力と意志をもって、着実な取り組みが重要。
- この景観づくりは、地域の主体性による、北海道の魅力を高めていく地域づくりと、北海道ならではのライフスタイルの確立につながるもの。

## 景観とは

長い時間の中で生活や産業活動といった人々の営みが周りの自然や風景に重なり合い、その表情として私たちの目に映し出される光景  
(地域の歴史を物語り、文化の積み重ねを通じて人々の暮らしを反映し、環境と地域社会との関わりの度合いを表すものとして客観的に把握可能)

## 理念

- 価値の継承**
  - ・優れた自然環境や生活環境の継承
  - ・歴史的、文化的資産の継承
- 持続可能な地域づくり**
  - ・自然と人の暮らしや産業との共存
  - ・環境共生の思想
  - ・持続可能な発展をたどる地域社会の形成
- 地域の主体性**
  - ・多様な価値の尊重
  - ・地域のアイデンティティを育む
- 連携・協働と継続性**
  - ・道民と行政等との連携・協働
  - ・長期的視野を持ったたゆまない取り組み

## 目標

**基本目標** 美しい北の国づくり

### 目指す姿

質の高い生成りの景観  
生活に根ざした景観

### 取り組みの姿勢

広域にわたる景観づくり  
地域主体の景観づくり  
長期的・継続的な景観づくり

## グランドデザイン～景観づくりの指針

- 独自性 -
  - ①自然を自然らしくまもる
  - ②田園を田園らしくととのえる
  - ③まちをまちらしくつくる
- 関係性 -
  - ④「自然と田園とまち」のかかわりを生かし、調和をはかる
- 総合性 -
  - ⑤「北国らしさ」を創り出す

○景域の設定（名称は仮称）

- ①道南景域 ②羊蹄・洞爺景域 ③道央都市景域
- ④空知景域 ⑤日高景域 ⑥環大雪景域 ⑦道北景域
- ⑧オホーツク景域 ⑨十勝景域 ⑩根釧景域

## 期待される役割

- ①道民の役割
- ②事業者などの役割
- ③行政(自治体)の役割
- ④専門家や有識者の役割

## 主な推進方策

- ① 意識向上のための展開
  - ・啓発普及・担い手育成
  - ・環境教育等景観観の醸成
- ② 協働の景観まちづくりの推進
  - 広域連携の景観づくり
  - ・景域計画の策定促進
  - ・先導的モデルプロジェクト
  - 協働による景観づくり
  - ・自主的まちづくり支援
- ③ 道が主導する推進方策(枠組みや仕組みづくり)
  - ・条例など基本の枠組みづくり
  - ・パブリック・アセスメント等(公共事業等)
  - ・指針策定
  - ・景域計画支援(地域への支援)
  - (推進体制)

- ◆景域計画の策定推進
  - ・地域主体の景観づくりに向けた、「景域計画」の策定を促進する。
  - ・策定を促進するため「景域カルテ」を示す。

## 意義(成果)

- 潤いの実感できる生活環境をつくる**
  - ・快適な生活環境づくり
  - ・安全性の高い生活環境づくり
- 活力と魅力ある地域をつくる**
  - ・独自性が高い地域の魅力の創出
  - ・魅力と活力ある地域づくり
  - ・社会的資産の価値を高める
- 地域への誇りと愛着を育む**
  - ・豊かな人間性と地域への誇りを育む
  - ・地域の資質を高め、多様な魅力を広げる
- 活発なまちづくりとの連動**
  - ・地域のまちづくりと連動
  - ・コミュニティの形成の促進